

令和3年度

運営に関する計画

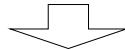
大阪市立長吉小学校

令和3年4月20日

【校訓】 正しく 強く 仲よく

【本校の教育目標】

地域の伝統をふまえ、規律ある学校生活を送り、互いに学び合い、
高め合うことができる子どもの育成



重点目標 自分で考え、自分から動く子どもの育成
自分も他人も大切にする子どもの育成
こつこつ継続して取り組む子どもの育成

1 学校運営の中期目標

現状と課題

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

昨年度末の最終評価ではすべて B 評価となった。コロナ禍により全教職員参加の会議が開きにくかったり、児童の活動に制限をかけざるを得なかつたりしたことが大きな要因である。

そのような中ではあるが、児童へのいじめアンケートを毎月実施し、書かれていた内容について担任が聞き取りをし、即対応をしてきた。保護者からの相談にも丁寧に応じ、個別に聞き取りや指導を行ってきた。さらに各学年の課題を生活指導部や人権教育部の部会で共通理解を図り、チームとして課題解決ができるようにしてきたことにより、いじめの早期発見・早期解決を行い、大きな問題を生じさせなかつたと言える。しかし、臨時休業以降学校へ来にくくなつた児童が増え、年間 30 日以上欠席した児童のうち、不登校傾向ととらえられる児童は増加傾向にある。

今年度も個々の状況に応じた丁寧な取り組みを家庭や地域とも協力しながら行い、児童の自己肯定感を高めるとともに、児童が安心して成長できるような環境づくりに努めたい。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

学習内容の充実を図ったり、指導力の向上に努めたりした結果「国語や算数の学習に進んでいますか」の問い合わせに 85 % 以上の児童が肯定的に回答した。「大阪市小学校学力経年調査」の結果の標準化得点を見ると、大阪市の平均を超えていないものの少しづつ上昇してきている。

また「大阪市小学校学力経年調査」における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」の項目について肯定的に答える児童の割合は 5・6 年生が前年度より上回る結果となつた。

今年度も引き続き、どの教科においても「主体的・対話的で深い学び」を追究しながら、基礎基本の定着を図り、より確かな学力が身につくよう研究を進めなければならない。

さらに「早寝、早起き、朝ごはん」を今後も推進し、自分自身の健康についても考えさせていきたい。

中期目標

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

- 規律と秩序のある学校を目指し、お互いの良さに気付き認め合う集団の育成を図る。
また、将来の夢や希望がもてる教育を目指す。
- ・令和3年度末の児童生活アンケート調査で「クラスの人と力を合わせて係や当番の仕事をしていますか」という項目について「はい」と答える児童の割合を70%以上にする。
(施策2 道徳心・社会性の育成)
 - ・令和3年度の全国学力・学習調査における「自分にはよいところがあると思いますか」という項目で「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を平成28年度より5%向上させる。
(施策2 道徳心・社会性の育成)
 - ・平成29年度～32年度の年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消に向けて対応している割合を毎年100%にする。
(施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)
 - ・令和3年度学校教育アンケート調査で「学校のきまりのプリントを読んでいますか」という項目で「はい」と回答する保護者の割合を50%以上にする。
(施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援)

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- 互いに学び合える環境を構築し、意欲を高めさせ、基礎・基本の学力・体力の定着を確実に目指す。
- ・令和3年度末の児童生活アンケート調査で「国語の学習や算数の学習をすすんでしていますか」という項目で「はい」と回答する児童の割合を85%以上にする。
(施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)
 - ・令和3年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して「している（どちらかといえばしている）」と答える児童の割合を平成28年度より増加させる。
(施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)
 - ・令和3年度の小学校学力経年調査における正答率5割以下の児童を、いずれの学年も平成28年度より減少させる。
(施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)
 - ・令和3年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査における合計得点を、平成28年度より5ポイント向上させる。
(施策7 健康や体力を保持増進する力の育成)

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

全市共通目標（小・中学校）

- ・令和3度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。
- ・令和3年度の小学校学力経年調査・校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を80%以上にする。
- ・令和3度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。
- ・令和3度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。

学校園の年度目標

- ・令和3年度末の児童生活アンケート調査で「クラスの人と力を合わせて係や当番の仕事をしていますか」という項目について「はい」と答える児童の割合を95%以上にする。
(施策2 道徳心・社会性の育成)
- ・令和3年度末の児童生活アンケート調査で「友だちの良いところを見つけてほめたことがありますか」という項目で肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
(施策2 道徳心・社会性の育成)
- ・令和3年度の年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。
(施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)
- ・令和3年度学校教育アンケート調査で「学校のきまりのプリントを読んでいますか」という項目で「はい」と回答する保護者の割合を85%以上にする。
(施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援)

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

- ・令和3年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。
- ・令和3年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント減少させる。
- ・令和3年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均を2割以上上回る児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント増加させる。
- ・令和3年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。
- ・令和3年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査における合計得点を、平成28年度より5ポイント向上させる。（目標値 男子 58.62 女子 56.11）

学校園の年度目標

- ・令和3年度末の児童生活アンケート調査で「国語の学習や算数の学習をすすんでしていますか」という項目で肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
(施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)
- ・令和3年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して「している(どちらかといえばしている)」と答える児童の割合を69.4%より増加させる。
(施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)
- ・令和3年度の小学校学力経年調査における正答率5割以下の児童を、いずれの学年も9.0%より減少させる。
(施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)
- ・令和3年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査における合計得点を、平成28年度より5ポイント向上させる。(目標値 男子 58.62 女子 56.11)
(施策7 健康や体力を保持増進する力の育成)
- ・令和3年度末の保護者アンケート調査で「家庭では『早寝・早起き・朝ごはん』をこころがけていますか」という項目で肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
(施策7 健康や体力を保持増進する力の育成)
- ・令和3年度末の児童生活アンケート調査で「給食をおいしく食べていますか。」という項目で肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。
(施策7 健康や体力を保持増進する力の育成)

3 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立長吉小学校 令和3年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】	
全市共通目標（小・中学校）	
<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。 令和3年度の小学校学力経年調査・校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を80%以上にする。 令和3年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。 令和3年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。 	
学校の年度目標	
<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度末の児童生活アンケート調査で「クラスの人と力を合わせて係や当番の仕事をしていますか」という項目について肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。 (施策2 道徳心・社会性の育成) 令和3年度末の児童生活アンケート調査で「友だちの良いところを見つけてほめたことがありますか」という項目で肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。 (施策2 道徳心・社会性の育成) 令和3度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。 (施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現) 令和3年度学校教育アンケート調査で「学校のきまりのプリントを読んでいますか」という項目で肯定的に回答する保護者の割合を85%以上にする。 (施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援) 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標

取組内容①【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】

- ・規律と秩序ある学校をめざす。
- ・令和3年度末の学校調査において、学校で認知したいじめについて、解消に向けて対応する。

指標

- ・令和3年度学校教育アンケート調査で「廊下・階段では、走らないで正しく歩いていますか」の項目で肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
- ・令和3年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。

取組内容②【施策2 道徳心・社会性の育成】

- ・人権教育部会で、各学年の課題を共通理解し、その課題解決に向けた取り組みを学校全体で行っていく。
- ・各学年の人権課題の解決に向けて、実態に応じた取り組みを行っていく。
- ・発達障がいに対する理解を深めるために5年生を対象にワークショップを実施する。
- ・総合的な学習の時間・生活科の年間指導計画の中に人権教育を効果的に取り入れる。
- ・総合的な学習の時間・生活科を研究教科に据え、カリキュラムの中に人権教育を位置付けていく方法を模索する。
- ・委員会活動・クラブ活動・なかよし学年の活動など、高学年が学校のリーダーとして活躍する場を積極的に設ける。
- ・自分の良さに気づくとともに、互いを認め合う集団の育成を図る。
- ・友だちと力を合わせて係や当番の仕事にと取り組む態度を育てる。
- ・子どもたちの情操を豊かにすることをめざし、音楽に親しむ機会を創出する。

指標

- ・人権教育部会を月に1回行う。
- ・児童理解交流会（全教職員対象）を年2回行う。
- ・令和3年度末の児童生活アンケート調査で、「友だちの良いところを見つけてほめたことがありますか」という項目について肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
- ・令和3年度末の児童生活アンケート調査で、「クラスの人と力を合わせて係や当番の仕事をしていますか」という項目について肯定的に回答する児童の割合を95%以上にする。
- ・音楽鑑賞会等を実施し、事後のアンケートにおいて、「もう一度ききたい」や「自分でも演奏してみたい」と答える児童の割合を70%以上にする。

取組内容③【施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】

- ・子どもたちに学校の生活におけるさまざまなきまりを守らせる。
- ・校内外における体験学習や社会見学、地域とのふれあい活動を実施し、社会・自然現象等に興味・関心を持ち、よりよく生きようとする子どもを育てる。
- ・個別対応が必要な家庭については、児童への声掛けを多く行い、児童の意識を変えるよう働きかけていく。

指標

- ・令和3年度学校教育アンケート調査で「学校のきまりのプリントを読んでいますか」という項目で、肯定的に回答する保護者の割合を88%以上にする。
- ・ゲストティーチャーを迎えるなどの体験学習を各学年2回以上行う。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

取組内容①【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】

・

取組内容②【施策2 道徳心・社会性の育成】

・

取組内容③【施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】

・

次年度への改善点

取組内容①【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】

・

取組内容②【施策2 道徳心・社会性の育成】

・

取組内容③【施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】

・

年度目標	達成状況
【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】	
<p>全市共通目標(小・中学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年の小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。(標準化得点とは、各年度の調査の本市の平均正答率が、それぞれ100となるよう標準化した得点のこと) 令和3度の小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント減少させる。 令和3度の小学校学力経年調査における正答率が市平均を2割以上上回る児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント増加させる。 令和3度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。 令和3年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査における合計得点を、平成28年度より5ポイント向上させる。(目標値 男子58.62 女子56.11) 	
<p>学校の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度末の児童生活アンケート調査で「国語の学習や算数の学習をすすんでしていますか」という項目で肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。 (施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組) 令和3年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して「している(どちらかといえばしている)」と答える児童の割合を69.4%により増加させる。 (施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組) 令和3年度の小学校学力経年調査における正答率5割以下の児童を、いずれの学年も9.0%より減少させる。 (施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組) 令和3年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査における合計得点を、平成28年度より5ポイント向上させる。(目標値 男子58.62 女子56.11) (施策7 健康や体力を保持増進する力の育成) 令和3年度末の保護者アンケート調査で「家庭では『早寝・早起き・朝ごはん』をこころがけていますか」という項目で肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。 (施策7 健康や体力を保持増進する力の育成) 令和3年度末の児童生活アンケート調査で「給食をおいしく食べていますか。」という項目で肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。 (施策7 健康や体力を保持増進する力の育成) 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標

取組内容①【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】

- ・朝の学習タイムとして、算数の計算領域の基礎基本や国語の漢字などの定着を図る。また、「ながよし算数スタンダード」等の内容を引き続きおこなう。また、本年度の生活科や総合的な学習の研究や他教科の中でも「主体的に学ぶ児童の育成」を実現するために授業改善を行う。
- ・理科や社会などさまざまな学習における出前授業、特別授業、社会見学等を実施する。
- ・計画的に各学年1回以上の授業研究会を行い、指導力の向上を図る。
- ・外部からの講師等を招いて多様な校内研修会も実施し、相互に啓発し合い指導力の向上を図る。
- ・学校教育施設や図書室、図書の整備、読書ノートの活用などを通して、読書活動の向上を図る。

指標

- ・令和3年度末の児童生活アンケート調査で「国語の学習や算数の学習をすすんでしていますか」という項目で肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
- ・各学年1回以上の授業研究会を行う。
- ・年間を通して校内研修会を実施する。
- ・令和3年度末の児童生活アンケート調査で「自分から進んで読書をしますか」という項目で肯定的に回答する児童の割合を70%以上とする。
- ・令和3年度小学校学力経年調査における正答率4教科合計標準化得点を、前年度より向上させる。

取組内容②【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】

- ・健康な生活習慣を身に着けさせるために「早寝・早起き・朝ごはん」を意識し、実践しようとする態度を育てる。
- ・水泳・なわとび・駆け足・スポーツ大会や体育の学習を通して体力づくりを図る。
- ・食に興味・関心をもたせ、望ましい食習慣を身に着けさせる。

指標

- ・令和3年度末の保護者アンケート調査で「家庭では、『早寝・早起き・朝ごはん』をこころがけていますか」という項目で肯定的回答を80%以上にする。
- ・健康委員会を中心に、健康週間を学期に1回実施する。
- ・運動委員会を中心に、なわとび集会・駆け足タイム・スポーツ大会をそれぞれ1回実施する。
- ・令和3年度末の児童アンケート調査で「給食をおいしく食べていますか」という項目で、肯定的回答を90%以上にする。
- ・望ましい食習慣を身に着けさせるために、年間1回以上、食に関する指導を行う。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

取組内容①【施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】

取組内容②【施策 7 健康や体力を保持増進する力の育成】

次年度への改善点

取組内容①【施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】

取組内容②【施策 7 健康や体力を保持増進する力の育成】